

科目名	英語コミュニケーション1 (H組) 担当者名 田尻 歩	修正事項	差し替え
<b>修正後</b>			
<b>1. 授業の概要・到達目標</b>			
<p>この授業では、英語プレゼンテーションの総合的な能力を養う。わかりやすく印象に残るプレゼンテーションには、あるトピックを適切な方法で明快に提示するスキルが必要である。この授業では、トピックに応じた適切な語彙・表現を身につけ、わかりやすい原稿の書き方、パワーポイントを利用したスライドの作り方を学ぶ。加えて、他学生の発表への英語コメントの仕方など、相互的にやり取りをする能力も養う。</p>			
<p>自己紹介の発表以外は、グループ単位で企画・提案しながら発表をつくってもらう。受講生同士で作業を行うプロセスもあるので、意見交換や新たな視点を学ぶ機会として、積極的に参加してほしい。発表本番の前の授業ではリハーサルを行い、受講生が不必要な緊張をせず最大限の力を発揮できる流れを採用しているため、発表を苦手と思う学生も気楽に参加してほしい。</p>			
<hr/>			
<b>2. 授業内容</b>			
[第1回] ガイダンス			
授業の進め方、成績評価方法などを説明する。また、Project 1: Self-Introduction の内容も解説する			
[第2回] Project 1: Introducing Yourself: Step 1			
剽窃の問題について学ぶ。自己紹介の原稿を執筆する			
[第3回] Project 1: Introducing Yourself: Step 2			
他受講生の原稿のピアレビューを行う。パワーポイントでスライドを作成する			
[第4回] Project 1: Introducing Yourself: Step 3			
グループに分かれて自己紹介の発表のリハーサルをする。お互いにどうしたらさらに良い発表にできるかアドバイスをし合う			
[第5回] Project 1: Introducing Yourself: Presentation 1			
自己紹介の発表を行う。人数が多いので、第5回と第6回の2回に分けて発表を行う。他受講生の発表に対してコメントをする			
[第6回] Project 1: Introducing Yourself: Presentation 2			
自己紹介の発表を行う。他受講生の発表に対してコメントをする			
[第7回] Project 2: News Digest: Step 1 Project 2			
Project 2: News Digest の内容解説とグループ・担当箇所を決め、原稿を執筆する。			
[第8回] Project 2: News Digest: Step 2			
他受講生の原稿のピアレビューを行う。パワーポイントのスライドを作成する			
[第9回] Project 2: News Digest: Step 3			
グループでスライドをひとつにまとめ、リハーサルをする			
[第10回] Project 2: News Digest: Presentation			
短いニュース番組のグループ発表を行う。他グループの発表に対してコメントをする			
[第11回] Project 3: Promoting Your Vacation Plans: Step 1			
Project 3: Promoting Your Vacation Plans の内容の解説をおこない、原稿を執筆する			
[第12回] Project 3: Promoting Your Vacation Plans: Step 2			
他受講生の原稿のピアレビューを行う。パワーポイントのスライドを作成する			
[第13回] Project 3: Promoting Your Vacation Plans: Step 3			
グループでスライドをひとつにまとめ、リハーサルをする			
[第14回] Project 3: Promoting Your Vacation Plans: Presentation 夏休みのプランについてグループ発表をおこなう。他グループの発表に対してコメントをする			
<hr/>			
<b>3. 履修上の注意</b>			
・辞書は持参すること			
・スライドを作る回では、その場で作業できるように Power Point を利用できるパソコン等のデバイスを持参すること。			
・リハーサル、発表時にはスライドのファイルが入った USB を忘れないように持参すること。			
<hr/>			
<b>4. 準備学習(予習・復習等)の内容</b>			

## 2024 年度共通シラバス訂正

- ・予習としては、1)教科書に目を通し、毎回の授業で発表準備のどの段階にあるのかを確認し、2)わからない単語・表現はあらかじめ調べておくこと。
- ・原稿執筆やスライド作成など、各種提出物の完成のために授業時間外の時間が必要になる。
- ・個人、グループ発表どちらの場合でも授業時間外での練習は必須となる。

---

### 5. 教科書

Noboru Matsuoka, Takashi Tachino, Hiroko Miyake, *Presentations to Go: Building Presentation Skills for Your Future Career*, Cengage Language, 2014. 2700 円 + 税

---

### 6. 参考書

これまで使用してきた文法書を参考書として使用すること。ない場合は高校生レベルの文法書で構わないので手元において、わからないときに参照できるようにしておくように。

---

### 7. 課題に対するフィードバックの方法

- ・発表については、その次の授業で全体に対してフィードバックを行う。
- ・原稿、スライドへのフィードバックは授業時間内に行う。添削してほしい学生は、授業時間内に確保するワークの時間を利用してほしい。

---

### 8. 成績評価の方法

#### 【平常点 50%】

- ・原稿・スライドの作成・提出
- ・リハーサルへの取り組み
- ・ピアレビューへの積極的参加
- ・他受講生の発表へのコメント

#### 【プレゼンテーション(3回) 50%】

- ・興味深いトピックについて、十分なリサーチをした上で発表できる
- ・平易で理解しやすい表現を用いて論理的な言葉遣いで発表できる
- ・図像やキーワードを配した英語のスライドを用いて発表をより効果的なものにできる
- ・声の抑揚やジェスチャー、アイコンタクトなどを意識して聴衆に訴えかけることができる

総合評価 60%以上を合格とする。

---

### 9. その他

- ・翻訳アプリ等の取り扱いについては授業内で説明する。
- ・基本的にはシラバス通りに授業を進めていくが、受講生の数によっては進行を多少変更する可能性がある。
- ・欠席の上限：出席は成績評価に含まないが、各学期で4回以上欠席がある場合は成績をつけることができないので注意するように。
- ・遅刻の扱い：授業開始後30分以内での入室は「遅刻」となるが、31分を過ぎてからは「欠席」扱いになる。また、遅刻3回で欠席1回と計上する。
- ・障害やその他の事情のために配慮を望む学生がいれば、面談をするので申し出てください。

科目名	英語コミュニケーション2 (H組) 担当者名 田尻 歩	修正事項	差し替え
修正後			
1. 授業の概要・到達目標			
<p>この授業では、英語プレゼンテーションの総合的な能力を養う。わかりやすく印象に残るプレゼンテーションには、あるトピックを適切な方法で明快に提示するスキルが必要である。この授業では、トピックに応じた適切な語彙・表現を身につけ、わかりやすい原稿の書き方、パワーポイントを利用したスライドの作り方を学ぶ。加えて、他学生の発表への英語コメントの仕方など、相互的にやり取りをする能力も養う。</p>			
<p>自分の将来についての発表以外は、グループ単位で企画・提案しながら発表をつくってもらう。受講生同士で作業を行うプロセスもあるので、意見交換や新たな視点を学ぶ機会として、積極的に参加してほしい。発表本番の前の授業ではリハーサルを行い、受講生が不必要な緊張をせず最大限の力を発揮できる流れを採用しているので、発表を苦手と思う学生も気楽に参加してほしい。</p>			
2. 授業内容			
[第1回] ガイダンス			
授業の進め方、成績評価方法などを説明する。また、Project 4 の内容も解説する			
[第2回] Project 4: Introducing A Country: Step 1			
グループを決め、ある国を紹介する原稿を執筆する			
[第3回] Project 4: Introducing a Country: Step 2			
ある国を紹介する原稿のピアレビューを行う。パワーポイントでスライドを作成する			
[第4回] Project 4: Introducing a Country: Step 3			
グループに分かれて発表のリハーサルをする。お互いにどうしたらさらに良い発表にできるかアドバイスをし合う			
[第5回] Project 4: Introducing a Country: Presentation			
Project 4 のグループ発表を行う。他グループの発表に対してコメントをする			
[第6回] Project 5: Discussing Social Issues: Step 1			
Project 5: Discussing Social Issues の内容解説とグループ・担当箇所を決め、原稿を執筆する			
[第7回] Project 5: Discussing Social Issues: Step 2			
他受講生の原稿のピアレビューを行う。パワーポイントのスライドを作成する			
[第8回] Project 5: Discussing Social Issues: Step 3			
グループでスライドをひとつにまとめ、リハーサルをする			
[第9回] Project 5: Discussing Social Issues: Presentation			
Project 5 のグループ発表を行う。他グループの発表に対してコメントをする			
[第10回] Project 6: Talking About Four Future: Step 1			
Project 6: Talking About Four Future の内容の解説をおこない、原稿を執筆する			
[第11回] Project 6: Talking About Four Future: Step 2			
他受講生の原稿のピアレビューを行う。パワーポイントのスライドを作成する			
[第12回] Project 6: Talking About Four Future: Step 3			
グループに分かれてリハーサルをする			
[第13回] Project 6: Talking About Four Future: Presentation 1			
将来の計画についての発表を行う。人数が多いので、第13回と第14回の2回に分けて発表を行う。他受講生の発表に対してコメントをする			
[第14回] Project 6: Talking About Four Future: Presentation 2			
将来の計画についての発表を行う。他受講生の発表に対してコメントをする			
3. 履修上の注意			
・辞書は持参すること			
・スライドを作る回では、その場で作業できるように Power Point を利用できるパソコン等のデバイスを持参すること。			
・リハーサル、発表時にはスライドのファイルが入った USB を忘れないように持参すること。			

## 2024 年度共通シラバス訂正

### 4. 準備学習(予習・復習等)の内容

- ・予習としては、1)教科書に目を通し、毎回の授業で発表準備のどの段階にあるのかを確認し、2)わからない単語・表現はあらかじめ調べておくこと。
- ・原稿執筆やスライド作成など、各種提出物の完成のために授業時間外の時間が必要になる。
- ・個人、グループ発表どちらの場合でも授業時間外での練習は必須となる。

### 5. 教科書

Noboru Matsuoka, Takashi Tachino, Hiroko Miyake, *Presentations to Go: Building Presentation Skills for Your Future Career*, Cengage Language, 2014. 2700 円+税

### 6. 参考書

これまで使用してきた文法書を参考書として使用すること。ない場合は高校生レベルの文法書で構わないので手元において、わからないときに参照できるようにしておくように。

### 7. 課題に対するフィードバックの方法

- ・発表については、その次の授業で全体に対してフィードバックを行う。
- ・原稿、スライドへのフィードバックは授業時間内に行う。添削してほしい学生は、授業時間内に確保するワークの時間を利用してほしい。

### 8. 成績評価の方法

#### 【平常点 50%】

- ・原稿・スライドの作成・提出
- ・リハーサルへの取り組み
- ・ピアレビューへの積極的参加
- ・他受講生の発表へのコメント

#### 【プレゼンテーション(3回) 50%】

- ・興味深いトピックについて、十分なリサーチをした上で発表できる
- ・平易で理解しやすい表現を用いて論理的な言葉遣いで発表できる
- ・図像やキーワードを配した英語のスライドを用いて発表をより効果的なものにできる
- ・声の抑揚やジェスチャー、アイコンタクトなどを意識して聴衆に訴えかけることができる

総合評価 60%以上を合格とする。

### 9. その他

- ・翻訳アプリ等の取り扱いについては授業内で説明する。
- ・基本的にはシラバス通りに授業を進めていくが、受講生の数によっては進行を多少変更する可能性がある。
- ・欠席の上限：出席は成績評価に含まないが、各学期で4回以上欠席がある場合は成績をつけることができないので注意するように。
- ・遅刻の扱い：授業開始後30分以内での入室は「遅刻」となるが、31分を過ぎてからは「欠席」扱いになる。また、遅刻3回で欠席1回と計上する。
- ・障害やその他の事情のために配慮を望む学生がいれば、面談をするので申し出てください。

科目名	中国語 1 a (再履) 担当者名 富田 絵美	修正事項	差し替え
<b>修正後</b>			
<p><b>1. 授業の概要・到達目標</b></p> <p>&lt; 講義概要 &gt; 再履修者のためのクラス。本講義では、まず 4・5 月に、中国語の発音表記(ピンイン)を学び、主に発音とリスニングの練習を集中的に行う。次に 5 月半頃から、あいさつや数字など基本的な日常表現について、文法や語法の基本的な知識を習得し、主に読解と作文の練習を行う。今学期の最後には、正確な発音と文法を用いて自己紹介ができることを目指す。</p> <p>&lt; 到達目標 &gt; ピンインを正確に発音でき、初歩的な聞き取りができるようになること、基本的な文法事項、語句、慣用表現を習得して、日常的な場面で用いる比較的簡単な文章の読解と作文ができるようになることを到達目標として設定している。</p> <hr/> <p><b>2. 授業内容</b></p> <p>(1) a. 講義ガイダンス、b. 中国語プロローグ a. 講義の流れと成績評価の方法について説明を聞く。b. 中国語の文字の特徴や発音表記の構造と、勉強方法や必要なツールについて学ぶ。</p> <p>(2) 発音1 声調 単母音 複母音 中国語の発音において、4種類の音の調子によって表す「声調」は、非常に重要な要素である。正確に発音し聞き取れるように練習する。次に、中国語の発音に用いられる7種の基本の母音(単母音)とその組み合わせ(複母音)について、日本語との違いに注意しながら学ぶ。</p> <p>(3) 発音2 子音 鼻母音 中国語の発音に用いられる21種の子音を、紛らわしい表記や日本語には無い音に注意しながら学ぶ。また、「鼻母音」と呼ばれる、日本人には区別し難い“-n”と“-ng”の二つの音について、発音と聞き取りの練習を行う。</p> <p>(4) 発音3 軽声 声調の変化 声調の組み合わせによって、一部の声調が変化する場合がある。そのルールについて、発音練習をしながら学ぶ。</p> <p>(5) 発音4 中国語音節表 声調の組み合わせ あいさつ表現 中国語において、母音と子音の組み合わせを「音節」という。中国語音節表を見ながら、紛らわしい発音や日本語には無い音を整理する。その後、基本的な単語やあいさつ表現を取り上げ、いろいろな音節や声調の組み合わせからなる単語の発音練習をする。</p> <p>(6) 発音5 授業中に用いる表現 数字 授業中に用いる表現や、1～10までの数字を取り上げ、発音練習をする。姓名の言い方を確認し、会話練習をする。</p> <p>(7) 第1課 「中国人留学生と知り合う」 人称代名詞 動詞“是”の文 人称代名詞と、「主語(A) + “是” + 名詞(B)」(AはBです)という基本的な構文について学ぶ。いろいろな国名や人の呼び方を確認した上で、基本文型とその否定形・疑問形を用いて会話練習を行う。</p> <p>(8) 第2課 「携帯の写真を見て」 動詞述語文 指示代名詞 疑問詞疑問文 指示代名詞と、基本的な構文「主語 + 述語(動詞) + 目的語」(動詞述語文)を学ぶ。日常生活でよく使う「動詞 + 目的語」の表現を確認した上で、動詞述語文を用いて会話練習を行う。</p> <p>(9) 第3課 「いっしょに勉強しよう！」 形容詞述語文 所有を表す“有” 時を表す語の位置 基本的な構文「主語 + 述語(形容詞)」(形容詞述語文)、および動詞や形容詞などを修飾する副詞の用法を学ぶ。基本的な形容詞と、時を表す語を確認した上で、会話練習を行う。</p> <p>(10) 第4課 「ファーストフード店で」 場所を表す代名詞 存在を表す“有” 反復疑問文</p>			

## 2024 年度共通シラバス訂正

場所を表す代名詞と、存在・所有を表す“有”の用法について学び、会話練習を行う。疑問詞について整理するとともに、肯定形と否定形を並べて疑問形を作る「反復疑問文」について学び、いろいろな形の疑問文を用いて会話練習を行う。

### (11) 第5課「Tシャツを買う」数詞 量詞 所在を表す“在”

「量詞」とは、ものを数えるときの単位である。数字の発音を復習した後、数量を尋ねる表現と量詞について学び、絵を見ながら物の場所や数を説明する練習を行う。

### (12) 第6課「いっしょに遊びに出かける」日付・曜日・時刻の言い方 助動詞(1)“想”・“要”

助動詞の用法を学び、「～したい」を表す“想”・“要”の使い分けに注意しながら会話練習を行う。また、日時に関する表現を学び、一日の予定を説明する練習を行う。

### (13) 文法の復習

教科書のトレーニング問題とプリントを使って、第1～6課の文法ポイントを振り返り、問題演習を行う。

### (14) a. 期末試験、b. 解説

a. 春学期授業で扱った内容について、授業時間中に試験を実施する。b. 解答とポイントを確認する。

## 3. 履修上の注意

課題と試験については、方法や内容等を提出日と試験日の約1ヶ月前に授業で説明します。  
授業中はスライドを使用しますが、撮影は禁止します。

## 4. 準備学習(予習・復習等)の内容

教科書の内容を先取りして予習する必要はありません。授業内容の復習に力をいれてください。5月上旬までは、授業で扱った語句について、音声聞いて何度も発音練習をしてください。5月中旬以降は、教科書やノートを見返しながら、授業中に指定された復習問題に回答してください。所要時間は毎週1時間程度で、原則的に提出チェックなどは行いません。

## 5. 教科書

緒方昭・小林光考・胡慶華著『中国語1年め』(白水社、2013年)

## 6. 参考書

授業に紙の辞書を持参する必要はありません。おすすめの辞書や参考書などは、授業中に紹介します。

## 7. 課題に対するフィードバックの方法

各回授業で指定する復習問題については、次回授業で解答の確認を行う。

授業時間内の小テストは、授業中に解説を行う。

中間課題・期末課題については、理解度と授業進度に応じて授業中もしくは解説資料配付の形で解説を行う。

期末試験は原則的に返却せず、授業中に解答の確認と解説を行う。

## 8. 成績評価の方法

### (1)成績評価方法

以下の2つの要件を満たしている学生を評価対象とする。

1. 出席率が全授業日数の2/3以上。
2. 下記「成績評価基準・評価の配分等」記載のA・B・Cの課題をすべて提出している。

### (2)成績評価基準・評価の配分等

評点は以下の項目から算出する。

- A. 中間課題(「授業中に用いる表現」に関する文章の読解と音読) 25%
- B. 期末課題(「自己紹介」に関する文章の作文と音読) 25%
- C. 期末試験(ピンイン・単語・文法・読解に関する問題) 50%

- ・ 提出期限後に提出した場合は、該当課題の評点を0.6倍とする。
- ・ A・B・C以外的小テスト等は、理解度確認等に使用し、評点には関係しない。

## 9. その他

学期中2回程度、小テストを行います。基本的な固有名詞と数字のピンイン書き取りテストです。